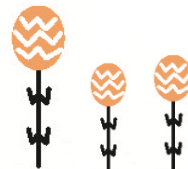


つくしんぼ通信 4月号

中島ゆうし保育園 子育てひろば
稲城市矢野口 256 TEL 042-377-3725 FAX 042-379-5725
<http://www.nakajimayuushi.ed.jp/>
e-mail kosodate@nakajimayuushi.ed.jp



育児相談のお知らせ

中島ゆうし保育園では、子育てのことでお悩みの方に保育士・看護師・栄養士が育児のアドバイスをさせて頂いております。お気軽にご相談ください。

受付：月曜日～金曜日

時間：9時～16時まで

保育園において頂いての相談はもちろん、電話やメールでもお受けします。ご来園の際は、事前にお電話でご予約ください。

こちらから、
稲城市の地域カレンダー
(地域の遊びの情報)のHPが
ご覧になれます。



こちらから、
中島ゆうし保育園のHPが
ご覧になれます。



* 園庭開放 *

4月の園庭開放は、
11日(木)です。

【時間】12:00~15:00 ※14:30にはお片づけを始めます。



* 室内開放 *

4月の室内開放は、
9日(火) 12日(金)です。

【時間】12:00~15:00 【場所】3階多目的ホール

(当園玄関より、外階段からおあがりください) ※14:30には、お片づけを始めます。



室内開放は、**完全予約制**となっております。予約受付時間：【平日】12:30~17:00

* 室内開放の日には・・・ *

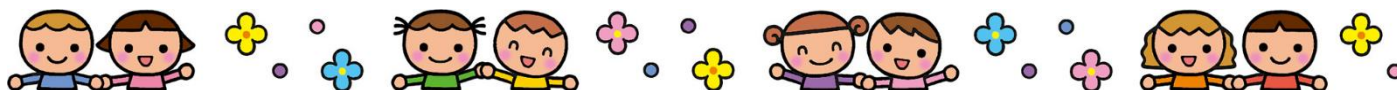
保育士からのミニシアター・保育所体験・
ベビーマッサージ・栄養士講座・ルントカ
フェ等を予定しております。

*日程は、HPや掲示でご確認ください。

* 食育動画 配信 *

調理室よりお届けしています。
HPをご覧ください。

内容が変更する可能性があります。 HPで最新の情報をご確認ください。



「おいしく食べる」ために大切な3つの要因

保育園では、行動に影響を与える「3つの要因（前提要因・強化要因・実現要因）」に配慮し、積極的に働きかけることで、「おいしく食べる」という行動を増やすように努めています。

【前提要因】食べる「きっかけ」を大切にす

大人の場合は、その人が持っている知識や価値観が食べる「きっかけ」となりますが、子どもの場合は、心理的、感覚的な要素や体験が「おいしく食べる」ことに結びつきます。

1. 繰り返しの体験を増やす

社会心理学者のロバート・ザイアンスは、繰り返して刺激にさらされると、その刺激に親近感が増すことを実験で示しました。これは、まさに「見れば見るほど好きになる」「食べれば食べるほど好きになる」ということです。

2. 慣れ親しんでいる「うま味」の活用

母体の羊水や母乳には、昆布と同じうま味成分の「グルタミン酸」が含まれています。子どもたちにとって、このうま味成分は生まれる前から親しんでいる安心できる味です。保育園では、昆布が入った出汁を使って、おいしく食べられるように工夫しています。



【強化要因】食べる意欲を育てる働きかけ

友達との会話や、友達が食べる姿を見ること。そして保育士の態度や励ましは、子どもの「食べてみよう!」という気持ちを育みます。また、実際に食事づくりに関わり、給食を作る人と触れ合うことも大切にしています。



【実現要因】食べやすさへの配慮

1. 「苦手な味」を減らす調理の工夫

子どもが苦手な苦みやえぐみは、「浸水や加熱」などで可能な限り取り除きます。また、酸味については、「果物の酸味」なども利用して、無理なく食べ慣れることができるように工夫しています。



2. 子どもの咀嚼・嚥下機能に合わせた形態

歯が生えそろっても噛む力が十分でない子どもは、噛み疲れて食べ飽きてしまうことがあります。食材や料理のおいしさを十分に味わうことができるように、口腔内の発育などに配慮して、年齢に合わせた形態で提供しています。



3. 子どもの発達に合わせた食具の選択

食具使用のペースには個人差があります。それぞれの子どもの成長に合わせて進めます。子どもの身体機能の発達に配慮するとともに、子どもの自立心の芽生え、自主的に食べようとする姿も尊重しながら支援しています。

4. 空腹を感じるリズムづくり

おいしく食べるためには、空腹や食欲を感じ、それを満たす心地よさを知ることが大切です。



はしか（麻疹ウイルス感染症）にご注意ください！！

2024年2月、アラブ首長国連邦から帰国した男女5人が、麻疹ウイルスに感染していることが報告されました。はしかは、麻疹ウイルスに感染することによって発症し、重症化する恐れがある感染症です。その感染力は高く、新型コロナウイルスをはるかにしのぎます。麻疹ウイルス含有ワクチン（以下、ワクチン）接種が唯一の感染予防手段となります。新型コロナウイルス感染症の流行により、国内外で小児のワクチン接種率が低下し、近年はしかに対して免疫を持たない方が増えてきておりますので注意が必要です。

はしかにかかったことがなく、ワクチン接種がお済でない方は速やかに接種していただくことをお勧めします。

はしかの患者さん1人で、12~18人の免疫のない方々に空気感染させます

- 「接触感染」「飛沫感染」だけでなく、「空気感染」で広がっていきます
- 「接触感染」はウイルスが付着した手を介して広がり、「飛沫感染」は咳やくしゃみで飛散したウイルスを含む飛沫で感染が広がります
- 「空気感染」では、集団の場で1人の発症があった場合、同じ空間にいる免疫のない方は、発症する可能性が非常に高いです
- ウイルスは、浮遊中や物質の表面で最大2時間の活性があり、感染力を持ちます
- 発症した患者さんでは、発疹の出る4日前から発疹出現の4日後まで感染力があるとされています

特効薬はなく、ワクチンが最も有効な予防法



はしかにかからないため、また流行を抑えるためには、**2回のワクチン接種が最も重要**です。

お子さん 現在、日本では1歳になったらすぐに1回目のワクチン接種を行い、2回目を小学校入学前の1年間（年長児）に接種する定期接種を行っており、接種することを強く推奨します

大人の方 今までにはしかにかかったことのない大人の方は、小さいころの予防接種記録をご確認いただくか、近くの医療機関での抗体価検査をご検討ください。

はしかのワクチンは生ワクチンですので妊婦さんには接種できません。パートナーやご家族で、ワクチン接種歴のない方や抗体価が不十分な方はワクチン接種を行い、妊婦さんや赤ちゃんを家庭内感染から守りましょう。

(はしか（麻疹ウイルス感染症）にご注意ください！！ | 国立成育医療研究センター (ncchd.go.jp))

